

輝け！シン尾花沢中

第100号

令和8年

9月17日

けだかく晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海も

創った「普段」できていますか？②～始業式から約4週間～

今回も、挑戦したい「普段」を考えての感想を紹介します。

柳橋さん（2年）：1学期に「こんなことができていなかったのか」と分かった。2学期は、できるように意識して過ごしていきたい。

加藤さん（2年）：感謝の言葉を使うことを忘れないようにする。

永沢さん（2年）：「挑戦したいこと」を必ず達成することができるよう、日々の生活に磨きをかけ、部活や学習で今まで以上に成長し、有意義な2学期としたい。

村井さん（2年）：書くことで、普段の生活の課題が分かったので見直していきたい。

遠藤さん（2年）：字だけ、言葉だけ、最初だけ、にならないように、何をしなければならないかを常に考えて行動したい。

多田さん（2年）：1学期できなかったことを2学期にも挑戦し、3学期で見直していきたい。

三浦さん（2年）：2学期は、他人に頼られるような人になりたい。

石川さん（3年）：全部を一気に達成しようとすると疲れるので、無理のない程度に気を引き締めて、余裕のある時にしっかりしていきたい。

大類さん（3年）：目指すものが形作られると取り組みやすい。

木内さん（3年）：今回書いた目標よりも上を目指して頑張りたい。

菅野さん（3年）：実力テストが、月1回のペースであるので、90分以上は必ず家庭学習できるようにするなど、勉強を頑張りがら生活したい。

石川さん（3年）：今の自分とは違う自分になりたい。

天野さん（3年）：決めただけでは挑戦することは難しい。「しっかり行う」意識を持つ。

本間さん（3年）：1学期の自分よりもいい自分に近づけるような目標を設定できた。

齊藤さん（3年）：挑戦したいことを書くことで、より頑張ろうという気持ちになった。

矢作さん（3年）：あらかじめ見通しをもつことで、自分が何をやればよいかを知ることができたのでよかった。

倉兼さん（3年）：2学期は受験に向けた取組を頑張らなければならない、と思った。そのために、「普段」を磨くことを意識して生活していきたい。

決めただけ、書いただけではいけない、と強い意志をもって2学期を迎えようとする尾中생が多かったことに驚きました。

自分で決めた「普段」の達成のために、内容をより具体的にしていくことをお勧めします。

例えば、「家庭学習を毎日行う」という「普段」を創ったとしたら、何時から何時間、どんな教科をどの曜日に、どのように学習するのか、などを決めてみましょう。

尾中생一人ひとりが、2学期の終業式で、達成感に満ちあふれた新たな自分に出会えるようになることを、心から願っています。

【文責：校長 工藤雅史】

